

第 138 回八大学工学関連研究科長等会議 議事録

日 時：2019 年 9 月 27 日（金）13:45～17:00

場 所：京都ホテルオークラ 4F「暁雲」

出席者：八大学工学系連合会会員等 89 名（研究科長等、副研究科長等、運営委員、陪席者等）

詳細は出席者名簿参照

議題等

1. 報告事項

- (1) 前回議事録確認
- (2) 運営委員会活動報告
- (3) 工学教育・研究に関する国際交流について
- (4) その他

2. 協議事項

- (5) 2019 年度博士フォーラムの実施について
- (6) 八大学からの提言の方向性について
- (7) 2019 年度就職活動問題への取り組みについて
- (8) その他

3. 講演会

講演 I 株式会社マイナビ就職情報事業本部西日本統括部長 藤原武史氏

講演 II 文部科学省高等教育局専門教育課企画官 西山崇志氏

4. その他

- (9) 今後の予定について

配布資料一覧

資料1 第 137 回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)

資料2 2019 年度第 1 回運営委員会議事録(案)

資料3 UKJEEL 2019 (7th UK-Japan Engineering Education-League Workshop)

資料4 環学的新学術フォーラム ERLEP Trans-disciplinary Forum 2019(北大)

資料5 WFE0 第 1 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム

資料6 2019 年度博士フォーラム実施計画 (名大)

資料7 八大学工学系連合会からの提言の方向性について (提言分科会)

資料8 2019 年度就職活動問題への取り組みについて (就活対応分科会)

資料9 八大学工学系連合会の会長校・幹事校について (参考)

講演 I 昨今の就職環境について

講演 II 社会全体のデジタル化と想像する未来社会からのバックキャストによる教育

議 事 要 旨

開会の辞

開会に当たって長坂会長・東北大学大学院工学研究科長より挨拶があった。

幹事校代表者挨拶

今回の幹事校の京都大学大学院工学研究科を代表して大嶋研究科長から挨拶があった。

議長選出

定款施行細則第 4 条第 4 項に従って幹事校代表者の大嶋京都大学大学院工学研究科長を議長に選出した。

会議日程及び資料確認

石原事務局長から会議日程の説明及び配布資料の確認があった。

議 事

1. 報告事項

(1) 前回議事録(案)確認(資料 1)

資料 1 により、4 月 19 日に東京にて開催した第 137 回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)を確認の上、承認した。

(2) 運営委員会活動報告(資料 2)

長坂会長(運営委員長)より資料 2 に基づき、7 月 1 日に開催した 2019 年度第 1 回運営委員会において、本年度の分科会事業と推進体制として、博士フォーラム分科会(主査:名大・生田先生)、就職活動問題への対応分科会(主査:東大・浅見先生)、提言分科会(主査:東北大・橋爪先生)としたことが報告された。

(3) 工学教育・研究に関する国際交流について(資料 3、資料 4)

大嶋議長から今年度は 3 件の工学教育研究に関する国際交流に参加、協賛、共催することが紹介され、それぞれについて担当の大学より説明と参加案内があった。

- ・ 5 月 29 日～31 日に台湾で開催された 'The 9th Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2019)について大嶋議長より、参加者の状況(開催国以外では日本からの参加者数が最大)、議論の模様、来年は香港で開催、などについて口頭で報告があった。
- ・ 東工大・和田物資理工学院長より、資料 3 に基づいて、9 月 5 日～7 日にロンドン (Queen Mary University of London) で開催された第 7 回日英工学教育ワークショップ(7th UKJEEL Workshop)について、参加者リスト、microteaching 実施、今後の開催に関する meeting、来年は新潟大学で開催、などの報告があった。
- ・ 北大・瀬戸口工学研究科長より、資料 4 に基づいて、10 月 16 日～18 日に北海道大学工学部で開催予定の「日豪若手先端研究者による環学的新学術フォーラム 2019」について、フォーラムの位置付け(日本工学アカデミー、八大学工学系連合会、北海道大学の共催)、議論テーマと参加者登録状況、特別講演者などの開催案内と参加の呼びかけがあった。

(4) その他 (資料 5)

日本工学会より、この度 WFEO が制定した World Engineering Day (March 4)を記念して 2020 年 3 月 5 日に開催するシンポジウムにおける「工学教育の未来」セッションへの八大学工学系連合会の参加要請があったことが事務局から紹介され、長坂会長が参加の予定とした。

2. 協議事項

(5) 2019 年度博士フォーラムの実施について (資料 6)

今年の幹事校・名古屋大学の生田先生より、資料 6 に基づいて 2019 年度博士フォーラムを 11 月 15 日に名古屋大学東山キャンパスで実施する計画が紹介され、各大学に対して各 2 名の博士課程学生を派遣してもらうよう依頼があった。また、博士フォーラムの進め方について意見等がある場合は名古屋大学に連絡することとした。

(6) 八大学からの提言の方向性について (資料 7)

長坂会長より資料 7 に基づいて、これまでの八大学からの提言の経緯、八大学工学系が抱える課題と提言の関係整理などについて運営委員会で検討の結果、これまでは学部教育に関する検討が少なかったことなどを基に、今年度の提言について引き続き検討していくとの報告があった。また質疑においてこれまで出してきた提言がどの様に使われているか調べるのも良いとのコメントがあった。

(7) 就職活動問題への取り組みと今後の進め方について (資料 8)

長坂会長より今年の就職活動問題への取り組み (分科会活動) について、資料 8 を用いて活動内容、活動計画の概要説明があり、続いて分科会の担当より資料 8 に基づいて 4 つの活動計画の説明があった。

- ・ 名大・瓜谷先生より、今年は就職活動に関するアンケートとして、今年就職活動を行った修士 2 年の学生と就職担当の教員を対象にアンケートを実施することとし、準備中のアンケート項目・質問内容が説明された。
- ・ 阪大・酒井先生より、就活問題対応のための実態情報として、企業へのヒアリングにより大学院での修学・研究成果の企業への情報提供のあり方の検討を進める計画が説明された。
- ・ 京大・米田先生より、インターンシップを大学が評価する仕組みとして、インターンシップの実態が把握できるデータベースを作成する計画が説明された。合わせて、現実問題である「学研災及び付帯賠償」の各大学の運用実態に関する状況が説明された。本件については、インターンシップにおける IP の扱い、単位化、インターンシップの利点・欠点を明確化した対応などの検討項目があるとのコメントがあった。
- ・ 事務局より、来る 11 月 27 日に開催を予定している第 2 回公開シンポジウムの準備に関する検討課題が説明された。また、八大学からの声明を、との提案に関連して 2008 年の八大学工学部長会議からの声明文の発表経緯が事例として紹介された。

以上の説明に基づいて質疑応答が行われ、研究科長等会議としてこの 4 つの活動をスタートさせることを承認した。また、世の中の諸情勢から就活問題を扱うタイミングも良くインパクトも期待できるのではないかとのコメントがあった。

3. 講演会

本年度は以下の2件の講演と質疑が行われた。

- I. 株式会社マイナビ就職情報事業本部西日本統括部長 藤原武史氏より、(現在、八大学が重要課題に取り上げているという背景のもと)「昨今の就職環境について」と題して時節を反映した講演があり、質疑が行われた。
- II. 文部科学省高等教育局専門教育課の西山崇志企画官より「社会全体のデジタル化と想像する未来社会からのバックキャストによる教育」と題して西山氏のバックグラウンド(科学技術政策)を基にした興味深い講演があり、質疑が行われた。

4. その他

(8) 今後の予定について(資料9)

資料9を参考に今後の会議予定についてアナウンスがあった。

- ・ 次回の常設会議の幹事校である東京大学工学系・浅見副研究科長から、2020年(令和2年)春の常設会議は4月17日(金)、KKRホテル東京で開催する旨アナウンスがあった。
- ・ 次々回の幹事校である名古屋大学工学研究科・瓜谷副研究科長から、2020年(令和2年)秋の常設会議は9月25日(金)に名鉄ニューグランドホテルで開催するとのアナウンスがあった。

なお、大嶋議長より2020年度は引き続き東北大学が会長校を担当することが紹介された。

以上をもって第138回八大学工学部長会議を終了することを大嶋議長が宣言し、事務局長から、この後、情報交換会を開催するので暁雲の別の間に移動頂きたい旨の案内があった。

以上